

【群馬県支部】資格審査手順

2022年 5月 設定
2022年10月 改訂
2024年 2月 改訂
2025月 1月 改訂
2025年 5月 改訂
2026年 2月 改訂

- 資格審査は、役員が2名以上で行う事
- 球場に到着次第、本部席に到着の報告、指示を受ける
- 基本、対戦チーム同士の役員が、お互いの対戦チームの資格審査を行う
- 対戦チームの役員が不在、県外チームの場合、協力(球場当番)チームの役員にて対応する

書類審査	<ul style="list-style-type: none">○登録役員選手名簿とオーダー表（提出6枚あるか確認）を照合し、オーダー表の内容に誤記、記載漏れが無い確認、必要に応じて、欠席・変更届、打球回数記録表も確認する○誤記、記載漏れ等の間違いが判明した場合、球場責任者に連絡し、指示を仰ぐ○確認後、登録役員選手名簿とオーダー表の右上に確認者名を記入し、オーダー表は、球場責任者へ戻す。登録役員選手名簿は、資格審査する際に持って行く
整列	<ul style="list-style-type: none">◎ベンチ前で整列する場合 選手はグラウンド側を向いて、審査員は選手が整列しているベンチ側を向いて、グラウンド側 審査員から見て左側から代表(チーム責任者)、監督、コーチ、スコアラー、選手の順に並ぶ◎グラウンド外で整列する場合 審査員から見て左側から代表(チーム責任者)、監督、コーチ、スコアラー、選手の順に並ぶ
審査開始	ただいまより_____ポーズの資格審査を行います。 【選手が挨拶をしてくるので、挨拶が終わったら審査を始める】
照合確認	<ul style="list-style-type: none">◎チーム責任者、監督、コーチ、スコアラー(マネジャー)の照合<ul style="list-style-type: none">・携帯している登録証の写真・氏名・生年月日を登録役員名簿と照合をする。 代表代行者は、登録証とチーム責任者証の両方を携帯する事。（どちらかのみは不可） スコアラーは、登録証が無くても可（但し服装で短パン、Gパン、短パンにスパッツ、サンダルは不可） マネジャーとしてベンチに入る場合は、登録証が必要（登録証が無い場合はベンチ入りは不可）・服装の確認<ul style="list-style-type: none">・チーム代表、代表代行者：連盟指定服・監督(60)、コーチ(50)の背番号と選手と同じユニフォームを着用しているか確認し ユニフォームの左袖に役員用ワッペン、右袖にエイジェックワッペンの有無確認・選手と同様の同色系統のスパイクか運動靴・スコアラー：選手と同じ帽子を着用し、服装は、上着はチームジャンパー 若しくはチームTEEシャツ等で、選手と同じユニフォーム以外である事 ズボンはジャージ類が望ましい。ジーンズなどは好ましくない。◎選手の照合<ul style="list-style-type: none">・正面姿勢から「右向け右」をさせる。「選手の皆さんは、右向け右」をしてください・ユニフォームの左袖に連盟選手用ワッペン、右袖にエイジェックワッペンの有無確認 審査役員は、選手の列を一周するような形で左右袖のワッペンを確認する 無い場合：ベンチ入りを停止、試合終了までにつけて再審査を受ければベンチ入りは可能・さらに「右向け右」をさせ後ろ向きにさせ、背番号を審査員側に向ける・1人の役員は、選手の前に立ち、選手の背番号を呼び、選手を振り向かせ、 審査証を提示しながら、選手に「氏名」・「生年月日」を声に出し言わせる・選手を振り向かせた役員は、提示された審査証の写真と選手の顔を確認し、 選手が声に出した「氏名」「生年月日」が審査証の記載内容と一致しているか確認・もう1人の役員は、選手が声に出した「氏名」「生年月日」が登録役員名簿と一致しているか確認 <p>※選手・指導者共にユニフォーム（ズボン¹）の²のソックスを禁止</p>

<p>使用具確認</p>	<p>基本、審査役員が確認を行うが、審判の協力が得られる場合は、対応してもらい任せる 試合で使用する用具は全てパートナー企業のものである事</p> <p>※パートナー企業は日本少年野球連盟HP 「ボーイズリーグの用具について」を参照</p> <p>○ヘルメット：7個以上用意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両耳付きで、SGマークがついている ・同色で安全の物、破損・ひび・クッションが動いているものは使用禁止 ・「フタバ電子」シールは左横に貼っている事 ・SG基準を満たした顎ガード付きヘルメットも使用可 ・「スターゼン」「メニコン」シールは右横に、貼っている事 <p>○捕手用具：2セット用意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急所カップの確認 ・クッションが外れているものは使用禁止 ・日本生命シールは後、又は左横に貼っている事 ・ヘルメットにはメニコンシール貼付けは、関東BL大会のみ <p>○グローブ・ミット類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)は一色の事 ・表面(捕球面、背面、網)に氏名、番号、その他の文字を表記は禁止。(内側への表記は可とする。) ・綴じ紐の折損、折損状態の物は使用禁止。補修後は再審査の上で使用可 ・綴じ紐の長さは、親指位の長さ(約5cm)以下であること <p>長いものは、一旦はじき、別途チーム内で対応してもらおう。審査役員では対応しない事</p> <p>○バット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SGマークがついている金属製、又は、1本の木材で作られているもの ・金属バット表面に変形、ヘコミ、ヒビ割れが入っているものは使用禁止 ・バットグリップのゴムや皮に緩み、ほぐれ、ほぐれそうになっている物は補修を指導し、チームにて貼りなおすか、カットしてもらおう。審査役員では対応しない事 補修ができない状態であれば使用禁止とする。但し、補修が完了し再審査を受ければ使用可 ・グリップパッド、フレアゴムについては、パートナー企業製とし、グリップテープの下に装着するタイプでバットのSG基準を損なわないものであれば使用を認める。 グリップテープの上に装着するタイプの使用は認めない。 ・カーボンバット(コンポジット型、一体型)は使用禁止とする。 2025年は連盟主催大会(全国大会、ブロック主管大会)で使用禁止を適用し 2025年12月31日以降はローカル大会を含む全大会で使用禁止を適用。 <p>○スパイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色は同系統色で、ライン色は、スパイク色と異なっても良いが、同系統色の事 ・同系色なら異なるメーカー、ラインのパターン違いも可 ・スパイクの歯は、金属歯、又は、一体成型のポイント式である事 <p>○打撃用グローブ・エルボガード・レッグガード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナー企業のものであれ使用は可、色の規制はしない。 <p>○手首、足首、指等の保護ガード(サポーター等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リストバンドの使用を認める。色は規制しない。 ・アームスリーブの使用は、認めない。 ・手首サポーターは、メーカーを問わず使用禁止 ・アイブラックについても使用禁止
--------------	--

<p>使用具確認</p>	<p>○サングラス</p> <p>紫外線からの目の保護や安全のため、サングラスは野球用具の一部として認める。</p> <p>但し、連盟指定メーカーのもので、レンズの色は反射しないもの、眼球が確認できるもの、フレームは一色に限る。</p> <p>メーカーが識別できなければ選手に尋ねて「どこのものですか」と答えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナー企業のものであれば、使用可能（ミラータイプは使用不可）。 <p>= 医療目的用 =</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に球場責任者に届出を行い、資格審査時に、診断書を確認する事 <p>原則、自分の目が相手側に判る範囲のものに限る（但し、診断書に色指定がある場合は可）</p> <hr/> <p>○AED</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯しているか確認し、使用期限についても確認する。
<p>審査終了</p>	<p>資格審査を行った結果、問題が無かった事、</p> <p>又は、使用禁止対象物、手直しをすれば使用可能な対象物の存在を伝えて終了する</p> <p>例）資格審査の結果、問題ありませんでした。</p> <p>以上で、資格審査を終了します。怪我の無いように頑張ってください。</p> <p>【選手が挨拶をしてくるので、挨拶が終われば、資格審査は終了】</p>
<p>書類返還</p>	<p>○登録役員選手名簿を球場責任者へ戻し、資格審査、書類審査が終了した旨を報告</p> <p>○試合記録表の資格審査者に確認者名を記入</p>

選手・指導者ともに、ユニフォーム（ズボン）の上にソックス及びロングパンツを禁止



手首サポーターは、メーカーを問わず使用禁止

